

令和2年8月28日

治験依頼者、モニタリング又は監査担当者 様

名古屋大学医学部附属病院  
病 院 長 小寺 泰弘  
先端医療開発部長 安藤 雄一

### 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策について

国内における新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大により、当院における治験関連部門において、下記の対応にご協力いただきありがとうございます。

COVID-19においては収束の目途が立たないため、この度SDVの実施について感染防止策として「仮SDV室」を確保しました。よって、これまでの下記対応に加え、SDVは曜日限定と人数制限を設ける縮小した形となりますが、SDVの実施をお願い致します。つきましては、「仮SDV室の利用について」をご確認ください。

感染防止策について引き続きご理解とご協力の程、よろしくお願い致します。

### 記

- ・電話、メール、Web会議等で行える業務は、来院を自粛してください。
- ・対面での打合せが必要な場合は、最少人数・最短時間にしてください。
- ・発熱など体調不良の場合は、来院を自粛ください。
- ・来院が必要な場合は、必ずマスク着用と手指消毒をしてください。
- ・モニタリングは、可能な限りリモートSDVを検討してください。

### 「仮SDV室の利用について」

- 対象SDV：被験者登録後（適格性確認）、カットオフ（要相談）、終了時を優先（その他については担当CRCを通じて個別相談）
- SDV可能日時：9月～11月、毎週水・木曜日、9時～17時（時間厳守）
- SDV可能人数：最大4名
- SDV予約方法：従来どおりシステム予約
- 仮SDV室までの動線：患者含む院内関係者との接触を避ける動線を案内（別途、案内マップ配布）
- その他、利用についての注意事項はSDV時に説明

以上